



大阪YWCA 12/1 2020/2021

<http://osaka.ywca.or.jp>

YWCA (Young Women's Christian Association)は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

食べ物は命の糧

「コロナ禍緊急食支援」プロジェクトを通して

認定特定非営利活動法人 フードバンク関西 理事長

中島 眞紀



私たちは、食品関連企業や個人の皆さまから、品質には問題ないが商品としては扱えない、使い切れないなどの食品をご寄付いただき、支援が必要な人達を支える活動を

する非営利団体に無償でお届けするフードバンク活動を2003年より続けています。

フードバンク活動で集められた食品は、①福祉施設（児童養護施設、母子生活支援施設、障がい者作業所、こども食堂など）への無償分配 ②行政と連携し、役所や社会福祉協議会などの生活相談担当窓口を通じて、生活困窮に陥った個人、世帯へ1週間分の緊急支援食糧を届ける「食のセーフティネット」事業 ③民間のNPOや子ども食堂運営団体と連携して、そこに登録している困窮ひとり親世

帯に対し月1回1年間、宅配で食品を送る「子ども元気ネットワーク」事業で活用しています。

今年4月、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため緊急事態宣言が出される事となり、休業や雇止めなどが相次ぎ、多くの人達が日々の生活にも困る状況となりました。困窮する人たちに食べ物をお届け、ひと時でもホッと

してこの事態を乗り切ってほしいと、当法人では、兵庫県内在住のコロナの影響で収入が激減した世帯に対し、直接電話やメールで申し込みを受け付け、宅配で米、レトルト、乾麺、α米、お菓子などの食品パックを送る「コロナ禍緊急食支援」を行いました。たくさんの方から食品をご提供いただくことができ、送料はクラウドファンデ

ィングで賄って、5月初めから約1か月半で1214世帯、4323人に食品をお届けすることができました。受け取った方から、「食べ物が届き

ほっとした」「こんな活動があるんだと知った」「落ち着いたら支援する側に回りたい」などのコメントが寄せられ、手応えを感じました。何より、「困ったときにはフードバンクがある」と認識していただけたことは大きな成果だ

と思います。この12月には、生活が苦しいひとり親世帯を対象に、美味しく食べて笑顔になって新年を迎えてほしいという思いを込めて、世帯からの申し込みを受け付け（最大500世帯）、食品パックを宅配で送る事業を計画中で、現在、企業様や一般の方に食品のご寄付をお願いしているところです。

未だコロナの終息は見えず、今後しばらくは経済の回復や雇用の改善が見込めない中、「命の糧」である食べ物を、誰もが欠かすことのないよう、フードバンク関西は、企業や個人の方々から寄せられる食品を有効活用し、関係各所と連携しつつ社会の「食のセーフティネット」の役割を果たしていきたいと思えます。今後も皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

なかしま まき

2005年～2013年

神戸市立井吹吹台児童館勤務

2013年～

特定非営利活動法人フードバンク関西にボランティア参加

2018年～

同法人 理事就任

2020年6月

同法人理事長就任



日本基督教団 暁明館病院伝道所
 牧師・チャブレン
 大阪医療刑務所 教誨師
 関西学院大学 / 桃山学院大学
 非常勤講師

岸本 光子
 きしもと ひかりこ



持てなくなった人たちに、「神様はあなたを愛している、あなたは貴い存在だ」と伝えました。また『互いに愛し合いなさい』と、弟子たちの足を洗いました。その汚れた足は、まさに私の足でもありませんでした。

決して良い子ではないけれど、それでも、いやそれだからこそ神様から命懸けで愛されていることを、クリスマスに私たちは神の独り子と出会うことにより知るのでした。

私たちが生きている現実

た。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」(ヨハネ福音書3:16)と聖書は語ります。

クリスマスとは、神様は世のすべての人々を愛されたこと、その愛はご自分の独り子を犠牲にし、十字架にかけられるほど大きいものであることを知る大切な時です。

さて、クリスマスに生まれた神の独り子は、その後どうなったでしょう。神の子ともなれば、この世の王や権力者の子以上に注目を浴び、社会を変革するために華々しい活躍をしたことでしょうか。

聖書は、神の子が約30年後、人々から罵られ、唾をかけられ、鞭打たれ、服をはぎ取られ、茨の冠をかぶせられて、十字架につけられた、と記します。

神の子が処刑されるとは、どんな酷いことをしたのでしょ。

彼は、病気の人に手を置いて癒し、のけ者にされている人たちと親しく語り、食卓を共にしました。人生に希望を

私たちが生きている現実

厳しい状況にありますが、心を澄ませば、独り子誕生の時のように夜空に響く賛美が聴こえます。たとえ病を抱えていても、また、経済的な苦しみの中にあっても、独り子イエス・キリストを下さった神は、私たちを極みまで愛し抜き、守り抜いて下さいます。

その愛に値しないように思える私にも、惜しみなく注がれている神様の愛を、今年のクリスマスは素直に受け取りたいと願います。そして、頂いた愛を他の人々と分かち合おう、喜びの時を過ごしたいと願います。

皆様にごく幸せなクリスマスが訪れますように!

幼かった私のクリスマスの楽しみは、枕元に置かれるプレゼントでした。クリスマスチャレンではなかった両親でしたが(年老いてから洗礼を受けました)良い子には、サンタさんが来てくれるんだよ、と教えてくれました。それで、私は毎年クリスマス前の数日間は実に良い子にしていたことを覚えていきます。

大きくなって聖書を学ぶと、良い子でない自分にも、神様の愛が注がれていたのを知りました。弱さや痛みを持つ自分に、神様は最大のプレゼントを下されたことも知りませんでした。

「神はその独り子をお与え



共にしました。人生に希望を

ぶどうの木
 時がある
 203

聖書コヘレトの言葉3章1節「何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある」。20年は北京女性会議から25年、第5次男女共同参画基本計画の見直し等記念すべき節目の年になる事を実感している。Time誌「世界で最も影響力のある100人」に、日本からジャーナリストの伊藤詩織さん、テニス選手の大阪なおみさんが選ばれた。性被害により深い傷を負い、黙っている人が多かった中、勇気を持って声を上げ行動を起こされた伊藤詩織さん。黒人差別の犠牲者たちの名前が入ったマスクを着け、マイノリティの人達の命の尊重を訴えられた大阪なおみさん。

今、ジェンダー平等等の活動展開は、このように若い女性が動き出した事と「時」を同じくしている。女性に対する性被害、暴力、人権の問題を正しく知り、理解し、行動する努力、底力が豊かに実ることを期待している。

(会員 堀河 昌子)

「ウィズ・コロナ時代」に 仲間と**出会う**には

～全国コアユースギャザリングの取組みより～



9月12、13日に、日本YWCAユース委員会主催で全国コアユースギャザリングが開催されました。運営委員や役員として活躍しているユースの役割や責任、経験・知識、悩みなどを共有し、それぞれの悩みに対して具体的な解決策を模索していくこと、仲間たちとの「横のつながり」を構築すること、そしてユースだけではなくさまざまな世代や背景を持つ人と協働して、社会変革を進めていくための力を得ることが目的です。

2日間のオンライン・プログラムを終え、想定していた以上に細かな配慮が必要なこととわかりました。オンライン・プログラムの難しさは、例えば、画面の前に座り続け

時間をかけて議論しました。直接会ってこそ信頼関係を強められ、思いを分かち合うことで活動の推進力を得られると意見が一致しました。しかしながら、私たちが手を携えたいと願う「コアユース」の仲間たちが、対面開催では参加できない状況にあることから、完全にオンラインでプログラムを開催することを決定しました。

ることによる疲労、非言語的コミュニケーションが難しいこと、休憩時間のぎつづくばらんな会話ができないこと、自分の顔が画面上に写し続けられることに緊張を覚えることなどです。一方で、宿泊や移動を伴わないからこそ参加できたという声があり、オンラインのおかげで出会いのチャンスは広がりました。そして画面越しではありましたが、YWCAでの活動に対する思いを共有しコアユースの繋がりを作ることができました。人と直接会うことが難しい「ウィズ・コロナ時代」に、YWCAが大事にしてきた価値観や場所、活動が失われないうち、そして活動が発展するよう新たな活動のあり方を模索していきたいと思えます。

(会員 栗田 明日香)



「きまぐれバザー」開店中!

これまで年2回、梅田会員部委員会で開いていた「ミニバザー」を今年度は形を変え、開催日、時間を決めず、店番をできる人が居る時にだけ開く「きまぐれバザー」と名前を変え開店しています。コロナ禍の中でバザーを開くにあたり、店番をする委員の負担、密を避けるためにこのような形にしました。

会員ルームの入口ポーチに「きまぐれバザー開店中」のぼり旗が立っている時が開店の目印です。のぼり旗は職員の桑原さんが作って下さいました。開店日は月によりますが月10回ほど開店しています。店番は活動の後にされるが多く、各委員会やグループ活動のある日が多いです。私は仕事帰りの午後5時頃〜7時頃に店番をする

この夕方からの店番は商品整理だけで終わる日もありますが、日中はなかなかYWCAに来る機会がない方にも来ていただければとの思いから開けています。そんな思いが届いたのか、先日、YWCAの近くで働いていらっしゃる方が仕事帰りに来てくださったました。たまに見かけるのぼり旗が気になっていたので、商品整理の日々も無駄にはなりませんでした。素敵な出会いとなりました。

コロナ禍の中で「きまぐれバザー」は新しい試みとして始まりました。この試みを終える日はまだ決まっていません。終える日まで楽しもうと思えます。

(会員 森本 昌江)

わたしのイチオシ!

若鶏の丸焼き



ペルーのクリスマスといえば七面鳥ですが、遠く日本の我が家のオーブンには入らないため、鶏の丸焼きでお祝しています。

さて、このPollo a la brasa(ポヨラブラッサ 若鶏の丸焼き)はペルーの国民的料理で、専門店が1年中大賑わい。鶏たちは炭火の中でぐるぐる回って焼かれています。

(会員 田中 亜子)

聖書の言葉

イエスは言われた。「わたしは世の光である。私に従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ。」

(ヨハネによる福音書8章12節)



未来へ——安心を創る

藤木工務店

大阪本店 〒541-0051 大阪市中央区備後町1-7-10
ニッセイ備後町ビル1階 TEL06-4964-8700

オフィスの移転・改装 / ショップの新装改装



国土交通大臣許可 26021 号
建築士事務所(法)第 6554 号

大阪オフィス
〒534-0024
大阪府東淀川区東野田町 4-1-10
TEL: 06 (6351) 8830 (代)
FAX: 06 (6351) 8840
http://www.office-interior.net

東京オフィス
〒135-0023 東京都江東区平野 3-4-1
藤和シテイコーポ木場公園 101 号
TEL: 03 (5875) 8315
FAX: 03 (5875) 8316

「ウイズ・コロナ時代」 いつの時代も大切なこと

～のびのび走ろう！遊ぼう！～ 大阪YWCA ども部



11月8日(日)、大阪YWCA ども部は今年度初めての野外プログラム「やきいも大作戦」走って遊んで焼き火でやきいも」を吹田市自然体験交流センターわくわくの郷で実施。14名の子どもたちと7名のリーダーが参加しました。さつまいもをアルミホイルでつつみ、たき火に投入。おいもが焼けるのを待つ間、しっぽとりやボール送りゲーム、おにごっこと思いつきり体を動かして遊びました。焼きあがったおいもはアツアツ、ほくほく。みんな「おいしい」「あつい」と言いながら1本平らげていました。



▶焼きあがったおいもはアツアツ、ほくほく

に、新しい生活様式の中で、感染症対策に配慮をしながらも、子どもたちがのびのび遊べる場を提供したいと考え、年間目標を「のびのび走ろう、遊ぼう」に変更しました。今回、野外活動プログラムを再開するにあたり、事前準備や実施段階で活用している「安全管理チェックリスト」に新型コロナウイルス感染症防止対策の項目を加え、プログラム中の小まめな手洗いやマスク着用、保護者の皆さんへ健康チェックカードの提出をお願いするなどの対策を行いました。久しぶりの野外プログラムで、リーダーたちはドキドキでしたが、大きな事故なく無事に終われたことに安堵し、何より子どもたちの「たのしかった！」の一言に大きな喜びを感じました。



▶ボール遊びで思いっきり体を動かす

新しい生活様式の中で、子どもたちの生活も制限されるものが多くなっています。子どもたちの健やかな育ちを保証するためにも自由な遊びの場は必要不可欠です。今後も、リーダー、スタッフで一つひとつの物事を丁寧に確認しながらプログラムを企画し、大阪YWCA ども部のプログラムが、たくさんの子どもの大切な出会いの場になることを願います。

(大阪YWCA ども部)

10月運営委員会報告

- 【協力ありがとうございます】
20/10/1〜20/10/31 敬称略順不同
- 賛助費
個人
宇都宮ゆかり 川上 光子
- 団体
株式会社 大丸松坂屋百貨店
- 寄付
グループパレット
橋本智香子
- 点字
豊中千里ロータリークラブ
- 会員維持費
川上 悦子
- 募金
5口 22,000円

- 【報告】▼平和環境部 12/19 けんぼうカフェ 3/6
- 李信恵さん講演会 ▼女性エンパワメント推進チーム 1/16 性暴力に対する社会の偏見を考える ▼東日本大震災被災者支援 3/25
- 29 わいわいステイプログラム ▼講座部 12/26 冬休みどもミニスクール

- 【協議】①全国会員総会について ②YM/YW合同祈禱週集会について ③4市Y合同ミーティングタスクチーム ④クリスマスバザーについて

information 詳細はお問い合わせ下さい。06-6361-0838

■性暴力に対する社会の偏見を考える

日時：2021年1月16日(土) 14:00~16:00
講師：牧野 雅子(龍谷大学犯罪学研究センター博士研究員)
会場：大阪YWCA本館 ※オンラインも可
参加費：1,000円 ※30歳以下は無料

詳細は…

確定申告に向けて
大阪YWCAへのご寄付は
寄付金控除の対象です

みなさまからの公益財団法人大阪YWCAに対する寄付金(募金、賛助費、会員維持費を含む)は、確定申告の際、「税額控除」または「所得控除」の対象となります。「税額控除」を選択することによって、多くの場合、所得税の還付金が増えます。詳しくはお近くの税務署にお尋ねください。(国税庁のHP参照)

確定申告の際は、当法人が発行する「寄付金領収書」をご寄付いただいた都度お渡ししていますと「税額控除に係る証明書の写し」(当法人のHPからダウンロードできます)が必要となります。ご不明な点は担当職員中村まで。

May you have a warm, joyful Christmas this year

株式会社一粒社ヴォーリス建築事務所
www.vories.co.jp